

スト権を91.3%で確立したぞ 動労革マルを先兵とした強制出向攻撃を粉砕するぞ！

反撃体制は固まったぞ、さあ反撃だ

すべての組合員のみなさん！ ついにわれわれは、「強制出向」の攻撃に対して、スト権の九一・三%の圧倒的確立をもって当局・動労革マル連合に、「強制出向」攻撃を木端微塵に粉砕する断固たる挑戦状をたたきつけた。総反撃の体制は固まった！ すべての組合員はスト権確立を武器に職場で総反撃せよ。「出向粉砕、動労千葉支援、8・29総決起集会」へ全力で結集しよう。

一切の力をふりしぼり闘う

この、スト権九一・三%の圧倒的確立こそわが動労千葉が、「強制出向」の攻撃を頂点とする当局・動労革マル一体となった強権的労務支配に對し、これを粉砕するべく動労千葉の一切の力をふりしぼり、闘う国鉄労働者の最先頭に起って実力反撃することを内外に力強く宣言したものであり。当局は、これまで三次にわたる「強制出向」をかけておきながら、いよいよ動労千葉が「ストも辞さず出向を阻止する」方針を掲げたたん、これまでの経過からいくと九月初旬となるべき「出向」を見合わせなければならぬところまで追いつめられているのだ。まさに、闘う方針が当局をして震撼せしめ、さらにスト権の確立が追いつちをかけたのである。

「出向粉砕、既得権奪還の闘い」
「四・一」強行実施以降、当局は職場集会、組合掲示板、組合事務所、パッチ、組合費徴収など一切の組合活動を否定し、さらに非番や公休を返上させての小集団活動などで「意識改革」を迫り、労働者を「企業の奴隷」にしようという卑劣な攻撃が、動労革マルを先兵として行われてきた。そして、その頂点をなすものが「強制出向」攻撃だったのである。
しかし、当局の「最後の切り札」ともいうべき「出向」攻撃も、実は大きな弱点をかかえたものであったのだ。それは、「本人の同意」なしに出向を強制するということが、日本のあらゆる労働協約、裁判での判例、労働委員会や労働法学者の見解、さらには労働省などの政府見解などに照らしても全くの違法行為であるということが明らかになってしまったのだ。
そのうえ、「二波のストライキの伝統」をもつわが動労千葉がスト権を確立したのだ。出向を出す側も受け入れる側も完全にデッドロックに乗りあげてしまった。

すべての組合員のみなさん！
スト権の九一・三%確立という圧倒的勝利を基軸に総反撃し、「出向」攻撃粉砕、既得権奪還の闘いに立ち上ろう。
「8・29総決起集会」へ結集しよう。

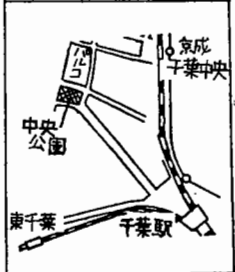
出向攻撃粉砕、動労千葉支援

8・29総決起集会

とき 8月29日（土）午後6時
ところ 千葉市中央公園

集会後、千葉運行部
（旧管理部）包囲デモ

主催 動労千葉支援共闘会議



当局と実力に対決する青年部（9/5津田沼）